

埼葛斎場予約・表示システム機能要件書

所在地 _____
事業者名 _____
代表者名 _____
担当者名 _____

【説明】

必須：機能として備えている必要がある。

推奨：機能として備えていることが望ましい。

【記入方法】

機能要件対応表の「対応方法」欄に必須項目は、以下のA～Dのうちから選択して記載すること。

- A 標準機能で装備または無償カスタマイズ
- B 代替案で利用する職員の負担も少なく同様の機能が実現可能
- C 有償カスタマイズ対応
- D 対応不可

【留意事項】

- ・必須項目に対応できない場合（Dが付いた場合）は失格とする。
- ・対応方法Bの場合は、代替案の概要等を記入すること。
- ・要求する機能への対応については、提案書提出後、確認を実施する場合があります。

埼玉斎場予約・表示システム機能要件書

「対応方法」の欄にA～Dのうちから選択して記載すること。
 ※機能要求必須（必須機能項目）、機能要求推奨（任意機能項目）

番号	項目	要求機能	機能要求 必須/推奨	対応	
				対応方法 A～D	補足事項、代替案、カスタマイズの内容・金額等
1. 葬祭業者向け機能					
1	共通機能	葬祭業者が利用するWEBページは、利用端末環境によって最適化されるレスポンスWEBデザインとし、スマートフォンやタブレット等からでも操作しやすい画面であること。	必須		
2		ブラウザは、現時点のMS Edge,Google Chrome,Safari,Firefoxが使用できること。	必須		
3	ログイン	システム利用申請を許可された葬祭業者に対し、予約・修正・取消をする場合にログインID+パスワードによる認証を可能とすること。	必須		
4		ログイン処理においては、二段階認証の機能を設定できること。	必須		
5		葬祭業者専用ページにログイン後は、葬祭業者の名前が常時表示されること。	推奨		
6		ログイン継続時間を設定し、未操作の状態が当該時間まで続いた場合には、自動でログアウトできること。（時間設定の変更ができること）	必須		
7		パスワードを忘れた場合、業者IDと登録メールアドレスを入力すると、自動でメールによるパスワード通知を行うことができること。	必須		
8		パスワードは有効期限の設定ができ、有効期限切れの場合は、ログイン時に自動的にパスワード再設定画面に遷移すること。パスワードは世代管理しひとつ前と同じパスワードは登録できないこと。	必須		
9		空き確認	「火葬」「式場」「霊安室」の空き状況が選択でき、斎場からのお知らせ等が見やすく表示されること。	必須	
10	1週間単位の一覧表示で空き状況の確認ができること。		必須		
11	空き状況は、○×等の記号や数字を用いて、直感的に分かる形態で表示すること。		必須		
12	空き状況では、偶数の火葬時間ごとに大型炉の利用可否が判る表現とすること。また、偶数火葬時間の1時間各3枠が普通炉で埋まったら、大型炉の利用はできないようにすること。		必須		
13	空き状況を表示する画面では、友引日は「友引」、休場日は「休場日」、予約不可日は「予約不可」の文字を表示できること。		必須		
14	空き状況は、六曜が表示されること。		推奨		
15	空き状況では、設定された日数分の確認が可能であること。 例：7日分、10日分、14日分等		必須		
16	空き状況照会で選択した日時が、火葬予約の予約日時として入力画面に反映できること。ただし、ログインしていない場合は、空き枠を（日時）を選択するとログイン画面に遷移すること。		必須		
17	火葬の空き状況（日時）を選択した場合、選択した火葬時間によっては式場の予約や、霊安室、待合室も合わせて予約ができること。ただし、式場と霊安室は同時に予約はできないようにすること（両方の利用はできない。）。		必須		

埼玉斎場予約・表示システム機能要件書

「対応方法」の欄にA～Dのうちから選択して記載すること。
 ※機能要求必須（必須機能項目）、機能要求推奨（任意機能項目）

番号	項目	要求機能	機能要求 必須/推奨	対応	
				対応方法 A～D	補足事項、代替案、カスタマイズの内容・金額等
18		式場利用が可能な火葬時間を選択し、式場を予約した場合は、式場の利用形態を選択入力できること。（通夜から利用、告別利用等）	必須		
19		式場のみの予約はできないこと。火葬予約を取る際に、同時予約として式場等の予約が可能であること。	必須		
20		予約の重複登録を防止するため、最終の登録時に排他制御で重複予約の防止を制御できること。	必須		
21	新規予約（仮予約）	空き照会で選択した日時での、予約申込ができること。	必須		
22		火葬の予約受付は、9時～15時で1時間に3件を最大受付件数とし、且つ、1日の最大受付件数を21件以内として制限できること。また、場合によっては、15時以降も予約受付ができる設定とすること。	必須		
23		火葬種別は12歳以上、12歳未満、死産児、四肢の一部、改葬遺骨とし、選択された火葬種別で入力項目が動的に変更となること。	必須		
24		死産児、四肢の一部、改葬遺骨の火葬予約は、火葬時間の制限設定が可能なこと。 （例）9時火葬のみ受付可…死産児、四肢の一部	推奨		
25		死亡者が組合外の場合、組合外の受付制限として、火葬時間（〇時のみ予約可）や、予約可能日の設定ができること。	必須		
26		新規予約は簡潔に予約枠を素早く押さえる事だけを目的とし、予約が必要な施設の選択と、死亡者情報として、死亡者及び申請者の住所区分（組合内・組合外）、死亡者氏名カナ、死亡日時などの基本項目のみを入力させること。 また、火葬種別の選択によって、死産児、四肢の一部、改葬遺骨のそれぞれに適した基本項目の入力画面に切り替わること。	必須		
27		<p>【入力項目例】 12歳以上・12歳未満</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火葬日時…選択された火葬日時を表示 ・棺の大きさ…火葬炉の大きさと連動 ・待合室…利用の有無 ・霊安室…利用の有無と搬送日時 ・式場利用…利用の有無と、通夜、告別等の情報 ・住所区分…死亡者の組合内（構成市町名）、組合外 ・死亡者氏名（カナ）…姓と名は、入力エリアが別れていること ・死亡日時…時間は未入力可 <p>※霊安室と式場において、両方は選択できないようにすること（どちらか片方の利用のみ）。 ※これらの新規予約時の入力項目の追加変更は、打合せ時に柔軟に対応できること。 ※死産児、四肢の一部、改葬遺骨においても、それぞれの入力項目に対応できること。</p>	必須		
28		死亡者の住所地を、組合内・組合外で選択が可能なこと。 組合内の場合は、組合市町名を選択できること。 組合外の場合は、近隣市町名の選択やその他（県市名入力）を入力できること。	必須		

埼玉斎場予約・表示システム機能要件書

「対応方法」の欄にA～Dのうちから選択して記載すること。
 ※機能要求必須（必須機能項目）、機能要求推奨（任意機能項目）

番号	項目	要求機能	機能要求 必須/推奨	対応	
				対応方法 A～D	補足事項、代替案、カスタマイズの内容・金額等
29		火葬時間が、9時、10時、11時、12時のみ、式場利用ができること。	必須		
30		待合室は1件の火葬予約に対し1室を予約可能とすること。（ただし、当日の空き状況により斎場職員にて追加利用もできること。）	必須		
31	新規予約（仮予約）	霊安室利用は、火葬予約を取る際に同時に予約する方法とすること。また、火葬日前日15時からの搬送もしくは火葬日当日搬送の利用が可能とし、搬送時間を入力（選択）できること。ただし、土日祝と友引が重なる日及び指定日は、霊安室の利用及び搬送（火葬日当日搬送のみ可能）ができない仕組みであること。	必須		
32		死亡年月日の入力、和暦、西暦に対応すること。また、不詳の場合は、「不詳」を選択でき、文字入力ができること。	必須		
33		死亡時間の入力は任意とし、入力された場合は、死亡日時と火葬予約日時との比較で24時間以上経過していることを判定し、24時間経過以上のみ予約を受け付けること。 時間未入力の場合は、死亡日と火葬予約日が同一でないこと。死亡日時不詳の場合は、予約日から火葬日まで2日以上空いていること。 死産児の場合も、24週以上の場合、同様の判定とすること。	必須		
34		正常に登録完了となれば、受付番号を発行し受付内容確認画面に遷移すること。また、詳細の料金明細も表示できること。	必須		
35		受付内容表示画面より、本予約の画面に遷移したり、予約一覧の画面に遷移できること。	必須		
36		仮予約完了メールを自動送信する機能を有すること。設定によっては、同時に斎場の指定メールアドレスにも同報メールが送られること。	必須		
37	予約一覧機能	ログイン後、「予約一覧」のボタンを選択することで、本日以降の予約済み情報の一覧表示が可能であること。表示される予約情報はログイン者が予約したもののみであること。	必須		
38	予約一覧機能	予約一覧には、受付番号・火葬日時・通夜日時・告別式日時・霊安室・火葬種別・住所区分（組合内・組合外）・死亡者氏名・死亡日時等が表示されること。 これらの予約一覧での表示項目の追加変更は、打合せ時に柔軟に対応できること。	必須		
39		予約一覧には、予約の状況「新規予約」、「詳細入力済み」「詳細入力期限切れ」の状態表示がわかりやすく色分けされて表示されること。	必須		
40		受付番号を選択し、詳細表示画面に移行すること。	必須		

埼玉斎場予約・表示システム機能要件書

「対応方法」の欄にA～Dのうちから選択して記載すること。
 ※機能要求必須（必須機能項目）、機能要求推奨（任意機能項目）

番号	項目	要求機能	機能要求 必須/推奨	対応	
				対応方法 A～D	補足事項、代替案、カスタマイズの内容・金額等
41	予約詳細表示 予約詳細入力機能	予約詳細の項目は、以下の項目から打ち合わせにて決められること。 ・火葬許可書番号 ・受付番号 ・受付日時、更新日時 ・予約業者情報（利用者ID、利用者名、電話番号） ・式場利用有無（通夜、通夜飾りのみ、告別等の情報） ・火葬日時 ・火葬種別 ・待合室利用有無 ・霊安室利用有無（利用する場合…搬送日時） ・郵便番号検索→住所入力補助 ・住所区分（死亡者の組合内（構成市町名）・組合外） ・死亡者情報（氏名カナ、氏名漢字、外字有無、外字入力、性別、死亡日時、生年月日、年齢、住所、本籍、ペースメーカー等有無） ※死産児の場合は、父母の氏名、住所、分べん日時、妊娠週数等 ※四肢の一部の場合は、本人氏名、切断部位名称、医師の診断書確認等 ※改葬遺骨の場合は、改葬許可証に記載されている事項 ・申請者情報（氏名、住所、続柄、電話番号） ・死因（一類感染症・その他）※感染症名も選択できること ・減免（申請する・申請しない） ・宗派（仏式、神式、キリスト、正宗、その他） ・火葬許可証番号 ・骨壺有無 ・その他備考 ・他、上記以外でも打合せ時に追加もあり得る想定で柔軟に対応できること。	必須		

埼玉斎場予約・表示システム機能要件書

「対応方法」の欄にA～Dのうちから選択して記載すること。
 ※機能要求必須（必須機能項目）、機能要求推奨（任意機能項目）

番号	項目	要求機能	機能要求 必須/推奨	対応	
				対応方法 A～D	補足事項、代替案、カスタマイズの内容・金額等
42	取消機能	予約取消ボタンにて表示されている予約情報の取消が可能なこと。	必須		
43		予約取消を行った際に、予約取消確認メールが利用者の登録メールアドレスへ送信されること。設定によっては、同時に斎場にも同報メールが送られること。 また、不正対策としてその取消された枠は、設定した一定時間において、取消した葬祭業者にのみ再予約の利用を制限できること。（利用制限の時間は可変設定であること）	必須		
44	不正予約対策	仮予約機能で登録した、基本となる死亡者氏名（カナ）、利用日時、組合内・組合外の項目は、変更できないこと。（不正利用対策として）	必須		
45		予約基本内容以外は変更できるが、前項の予約基本内容を変更する場合は、いったん取消し再度別な日時での新規予約から行う仕組みであること。（不正利用対策として）	必須		
46		予約を取消した場合、その火葬枠や式場利用枠は、即座に他の利用者に開放できること。	必須		
47		同一の業者、同一死亡者カナ氏名で複数の予約を行えないこと。	必須		
48		詳細入力締切日時を経過した予約については、詳細入力及び取消の操作を不可とすること。	必須		
49	差し戻し機能	詳細入力締切り時間を経過した予約に対して、斎場職員の操作で、葬祭業者に差し戻して一定時間内での取消や項目の訂正入力が行えること。	必須		
50	一時保存機能	一時保存ボタンを押せば、未入力項目があっても保存できること。また、一時保存状態であることを一覧画面で表示できること。	必須		
51	予約内容チェック機能	詳細入力確定ボタンを押すことで、必須項目の入力チェックができること。	必須		
52		必須項目の入力チェックでエラーとなった場合は、どの項目でエラーなのかアラートするメッセージ画面を表示すること。また、そのエラー箇所を色を変えるなどの強調表示ができること。	必須		
53	予約内容表示機能	正常に登録完了すれば、一時保存もしくは詳細情報登録完了のメッセージを画面に表示すること。	必須		
54	メール通知機能	詳細入力の確定登録・取消が確定した時点で、事前に登録されている葬祭業者のメールアドレスへその通知を自動送付できること。通知の内容には、予約番号、予約種類（確定登録/取消）、予約内容、注意事項等を記載すること。設定によっては、同時に斎場の指定メールアドレスにも同報メールが送られること。	必須		
55	予約情報登録機能	葬祭業者が仮予約と詳細入力を行う場合を「業者予約」状態とし、職員確認後に「予約確定」とする運用に対応できること。また、予約確定となったものは、目視により明確に判別できるようにすること。	推奨		

埼葛斎場予約・表示システム機能要件書

「対応方法」の欄に A～D のうちから選択して記載すること。
 ※機能要求必須（必須機能項目）、機能要求推奨（任意機能項目）

番号	項目	要求機能	機能要求 必須/推奨	対応	
				対応方法 A～D	補足事項、代替案、カスタマイズの内容・金額等
2. 斎場職員向け					
1	共通機能	ブラウザは、現時点のMS Edge,Chrome,Safari,firefoxが使用できること。	必須		
2	ログイン	ログインID + パスワードを入力することにより、システムのメインメニューにログインできること。	必須		
3		職員の権限の設定が可能で、更新・参照共に可能、参照のみ可能などの業務を（機能）を設定できること。	必須		
4	メインメニュー	ログイン名が表示されること。	必須		
5		メインメニューには、予約管理機能、設定・マスタメンテナンス機能、印刷・CSV出力機能のボタンが配置されること。また印刷・CSVボタンを押すことで、サブメニューに展開され、各種印刷の機能ボタンが表示されること。	必須		
6	予約一覧表示	初期表示として、本日の予約状況一覧が表示されること。カレンダーでの日付変更で、指定日の予約状況が一覧表示されること。	必須		
7		日付変更スピンドルでも表示が切り替わること。指定日の運用状態（開場日、友引日、休場日、予約不可日）も切替えて表示すること。	必須		
8		条件入力（火葬年月日、予約状態、死亡者氏名（カナでの曖昧検索）、申請者氏名（カナでの曖昧検索）、業者名（カナでの曖昧検索）、予約種別（12歳以上、未満、死産児等）などで指定検索でき、該当の情報を一覧表示すること。	必須		
9		検索結果より選択して、詳細情報画面に遷移すること。	必須		
10		予約一覧画面では、その日に予約できる火葬時間帯ごとの予約枠が表示され、予約が入っている火葬時間の行には、その予約内容の一部が表示されていること。 表示例：火葬時間、火葬炉番、予約番号、待合室、予約種別、死亡者氏名、葬祭業者名、葬祭業者電話番号、死亡日、組合内、組合外、式場利用有無など。	必須		
11		予約一覧画面の空いている火葬時間のボタンをクリックすることで、新規予約画面に移行すること。	必須		
12		予約済みの予約番号を押せば、詳細入力画面に移行し、参照・変更・取消ができること。また、葬祭業者が変更できない項目の場合でも、職員は変更できること。	必須		
13		予約登録時に登録された業者を、予約内容はそのまま業者のみ解除できること。また、その解除した予約に対し、新たな業者を設定できること。（例：A業者が予約を登録したが、B業者に変更となった場合に変更可能なこと。）	必須		
14		日次で使用する帳票印刷のボタン配置ができること。 予約状況表、納入通知書兼領収書、使用許可申請書・許可書、分骨証明書等	必須		

埼玉斎場予約・表示システム機能要件書

「対応方法」の欄にA～Dのうちから選択して記載すること。
 ※機能要求必須（必須機能項目）、機能要求推奨（任意機能項目）

番号	項目	要求機能	機能要求 必須/推奨	対応	
				対応方法 A～D	補足事項、代替案、カスタマイズの内容・金額等
15	予約詳細表示 予約詳細入力機能	予約詳細の項目は、以下の項目から打ち合わせにて決められること。 ・火葬許可証番号 ・受付番号 ・受付日時、更新日時 ・予約業者情報（利用者ID、利用者名、電話番号） ・式場利用有無（通夜、通夜飾りのみ、告別等の情報） ・火葬日時 ・火葬種別 ・待合室利用有無 ・霊安室利用有無（利用する場合…搬送日時） ・郵便番号検索→住所入力補助 ・住所区分（死亡者の組合内（構成市町）・組合外） ・死亡者情報（氏名カナ、氏名漢字、外字有無、外字入力、性別、死亡日時、生年月日、年齢、住所、本籍、ペースメーカー等有無） ※死産児の場合は、父母の氏名、住所、分べん日時、妊娠週数等 ※四肢の一部の場合は、本人氏名、切断部位名称、医師の診断書確認等 ※改葬遺骨の場合は、改葬許可証に記載されている事項 ・申請者情報（氏名、住所、続柄、電話番号） ・死因（一類感染症・その他）※感染症名も選択できること ・減免（申請する・申請しない） ・宗派（仏式、神式、キリスト、正宗、その他） ・火葬許可証番号 ・骨壺の有無 ・その他備考 ・他、上記以外でも打合せ時に追加もあり得る想定で柔軟に対応できること。	必須		
16	小動物火葬	小動物の予約入力ができること。 予約詳細の項目は、以下の項目から打ち合わせにて決められること。 ・組合内（構成市町名）、組合外 ・申請人氏名 ・申請人住所 ・申請人電話番号 ・組合内、組合外、合同火葬、単独火葬、重量別の入力 ・骨つぼ入力 ・備考	必須		
17		小動物の使用料納入通知書兼使用料領収書の発行ができること。また、日計表が出力できること。	必須		

埼葛斎場予約・表示システム機能要件書

「対応方法」の欄にA～Dのうちから選択して記載すること。
 ※機能要求必須（必須機能項目）、機能要求推奨（任意機能項目）

番号	項目	要求機能	機能要求 必須/推奨	対応	
				対応方法 A～D	補足事項、代替案、カスタマイズの内容・金額等
18	帳票	以下の帳票類を出力できること。 ・使用許可申請書 ・使用許可書 ・火葬執行済証明申請書及び証明書 ・火葬執行済証明申請書及び証明書（死産児） ・四肢の一部火葬申込書兼執行済証明書 ・四肢の一部証明書 ・火葬執行済証明申請書及び証明書（四肢の一部） ・分骨証明申請書・分骨証明書 ・残骨処理依頼書 ・市町別火葬使用実績（月報） ・市町別斎場施設使用実績（月報） ・火葬時間帯別件数（月報）（EXCEL形式） ・使用料納入通知書兼使用料領収書（小動物火葬を含む） ・日別予約状況一覧表（EXCEL形式） ・予約空き状況表（EXCEL形式） ・登録業者別受付表（EXCEL形式） ・葬祭業者一覧表（EXCEL形式） ・職員一覧表（EXCEL形式）	必須		
19		火葬台帳、火葬証明書の発行に必要な項目に関しては、永年保存できること。	必須		
20		電子公印が使用できること	必須		
21		外字ソフトを使用して、申請書、許可証等に外字を印刷できること。	必須		
22	環境設定	元号、料金、休日等の設定変更を事前設定できること。また、変更日を指定して変更することが可能で、適用日が来たら自動で変更すること。	必須		
23		設定変更が過去の火葬台帳に登録した内容に影響しないこと。過去の台帳は過去のまま保持すること。	必須		
24		WEB予約に必要な基本情報の設定変更が可能なこと。	必須		
25		和暦元号の設定が可能なこと。また、その際、和暦名・省略記号、適応期間を設定変更可能なこと。	必須		
26		葬祭業者及び斎場への送信メール設定として、送信元メールアドレス、送信者名称、予約登録時定形文章、予約変更時定形文章、予約取消時定形文章、送信エラー時通知メールアドレスの設定変更が可能なこと。	必須		

埼葛斎場予約・表示システム機能要件書

「対応方法」の欄にA～Dのうちから選択して記載すること。
 ※機能要求必須（必須機能項目）、機能要求推奨（任意機能項目）

番号	項目	要求機能	機能要求 必須/推奨	対応	
				対応方法 A～D	補足事項、代替案、カスタマイズの内容・金額等
27	運用スケジュール設定	初期表示は、現在年月であること。	必須		
28		斎場の運営日についてわかりやすく表示すること。（開場、休場、友引、友引以外日）	必須		
29		斎場の日毎の予約状況（火葬の予約枠総数と予約済数、式場の予約枠総数と予約済数）を表示すること。	必須		
30		日付を指定して予約状況を表示できること。	必須		
31		空き状況確認や予約の日数は、任意の日数を設定可能なこと。 例：7日先まで、10日先まで、14日先まで等	必須		
32		予約取消後の再予約不可能時間を設定できること。	必須		
33		任意の日付をクリックして該当年月日の運用スケジュール詳細設定が可能なこと。	必須		
34		指定日付の休場日設定（開場日・休場日・予約不可日）が表示できること。また、開場日、休場日、予約不可日の設定を変更可能なこと。	必須		
35		指定日付の火葬・告別式・通夜・待合室・霊安室の一日最大予約受付件数の設定値を設定可能なこと。	必須		
36		指定日付の火葬スケジュールについて火葬時刻別に現在の予約枠数、予約済数、空き枠数、及びそれぞれの一日合計数を表示できること。予約枠数を火葬時刻別に変更可能なこと。ただし、予約済数を下回る予約枠数を指定した場合はエラーとすること。また、式場利用者の優先火葬枠を設けている時間帯は予約枠数をゼロにはできないこと。	必須		
37	特別な運用方法ではない限り、斎場マスタの基本予約枠設定に従い予約可能なこと。 例：特別な運用方法とは、大規模修繕のような運用制限を設ける場合など。	必須			
38	メッセージメンテナンス	斎場からのメッセージを、表示期間を設定し表示できるようにすること。	必須		
39		メッセージ表示は、TOP画面での公開メッセージと、ログイン後の葬祭業者向けメッセージと、職員側サイトでの職員向けメッセージの3種類を管理できること。	必須		
40		メッセージにおいては、文字の修飾、下線、外部リンクの記述、ファイルのダウンロードリンクを編集できること。	必須		
41		新着区分で、メッセージの先頭に【新着】と表示できること。	必須		

埼玉斎場予約・表示システム機能要件書

「対応方法」の欄にA～Dのうちから選択して記載すること。
 ※機能要求必須（必須機能項目）、機能要求推奨（任意機能項目）

番号	項目	要求機能	機能要求 必須/推奨	対応	
				対応方法 A～D	補足事項、代替案、カスタマイズの内容・金額等
42	葬祭業者マスタメンテナンス	葬祭業者の情報を、新規登録、修正管理できること。	必須		
43		葬祭業者の管理項目は、葬祭業者IDをキーとして以下の項目を管理できること。 葬祭業者名、略称名、ふりがな、利用管理区分（利用可能/利用停止）、郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、パスワード、メールアドレス、代表者名、備考。	必須		
44		葬祭業者ごとの利用回数（該当葬祭業者の全担当者利用回数を含む）を累計管理できる機能を有すること。	推奨		
45		登録されている葬祭業者に、一斉メール送信が行えること。送信メール内容として、サブジェクト、メール本文、フッター文章を入力できること。	必須		
46		登録された業者情報（詳細一覧）をEXCELファイルとして出力できること。	必須		
47	職員マスタメンテナンス	斎場職員の情報を、新規登録、修正管理できること。	必須		
48		登録された職員情報をEXCELファイルとして出力できること。	必須		
49		職員の管理項目は、職員IDをキーとして以下の項目を管理できること。 職員氏名、ふりがな、利用管理区分（利用可能/利用停止）、権限（委託職員・一般職員・システム管理者）、パスワード、電話番号、FAX番号、メールアドレス、担当斎場、備考。	必須		
50	料金設定	期間別に各施設の利用料金の設定・修正が可能なこと。	必須		
51		火葬炉の利用は登録されている火葬種別・組合内・組合外別に料金設定が可能なこと。	必須		
52		式場の利用は利用別・組合内外別に料金設定が可能なこと。	必須		
53		待合室の利用は、組合内外別に料金設定が可能なこと。	必須		
54		霊安室の利用は組合内外別に料金設定が可能なこと。	必須		
55		骨つぼの購入について、各種つぼの料金設定が可能なこと（小動物利用も含む）。	必須		
56		小動物火葬の利用は合同、単独火葬別、重さ別、骨つぼ別、組合内外別に料金設定が可能なこと。	必須		
57	バックアップ処理	データ保護の観点から、クラウド環境の全てのデータは、自動で毎日バックアップ保存すること。	必須		

埼玉斎場予約・表示システム機能要件書

「対応方法」の欄に A～D のうちから選択して記載すること。

※機能要求必須（必須機能項目）、機能要求推奨（任意機能項目）

番号	項目	要求機能	機能要求 必須/推奨	対応	
				対応方法 A～D	補足事項、代替案、カスタマイズの内容・金額等
58		バックアップされたデータは、ディザスタリカバリの観点から、遠隔地のクラウド環境のリソースにも毎日保存されること。	必須		
59		万が一のDB障害時には、バックアップされた予約データをリストアすることでデータ復旧が行えること。	必須		
60	データ取込	現行システムの火葬データを取り込みできること。	推奨		
61	データ出力	今回の新システムを導入した後、契約終了時に蓄積されたデータをCSVファイル等で、データ出力ができること。	必須		

埼葛斎場予約・表示システム機能要件書

「対応方法」の欄に A～D のうちから選択して記載すること。
 ※機能要求必須（必須機能項目）、機能要求推奨（任意機能項目）

番号	項目	要求機能	機能要求 必須/推奨	対応	
				対応方法 A～D	補足事項、代替案、カスタマイズの内容・金額等
3. 表示制御					
1	ログイン	操作者の I D、パスワードを入力することにより、操作が可能であること。	必須		
2	メインメニュー	メインメニュー画面を表示し、各画面処理を選択できること。 ・火葬炉、待合室割付処理 ・表示内容確認処理	必須		
3	火葬炉・待合室 割付処理	指定日の予約状況一覧を表示し、一番最初の火葬予約に対し、使用する火葬炉のスタート番号を指定できること。 また、2番目以降火葬予約には、火葬炉ローテーションに従って自動で割り付けを行えること。 割り付けられた火葬炉番号に対し、個別に変更できること。	必須		
4		指定日の予約状況一覧を表示し、待合室の割付が指定できること。	必須		
5		指定日の予約状況一覧を表示し、告別室及び取骨室の割付が指定できること。	必須		
6	表示内容確認処理	端末（P C）画面にて、各部屋の表示機に現在何が表示されているかサムネイル画像で表示できること。	必須		
7		表示後に、非表示、表示内容変更にも対応できること。	必須		
8		急きょ部屋の変更などで、表示箇所を強制的に変更できること。	必須		
9		通常は、予定時間で表示制御を行い、到着の遅延や、利用時間の延長の場合、表示内容を手動で継続できる機能を有すること。	必須		
10	表示対象機器	火葬炉前案内表示（火葬炉前×9台） ・ディスプレイサイズ：15.6インチ以上 ・表示内容：葬家名 ・同姓同名の場合は、町名表示ができること。 ・表示内容を任意に入力できること。 ・進行状況により次の表示に切り替わる。	必須		
11		待合室前案内表示（待合室前×8台） ・ディスプレイサイズ：15.6インチ以上 ・表示内容：葬家名 ・同姓同名の場合は、町名表示ができること。 ・表示内容を任意に入力できること。 ・進行状況により次の表示に切り替わる。	必須		

埼玉斎場予約・表示システム機能要件書

「対応方法」の欄に A～D のうちから選択して記載すること。
 ※機能要求必須（必須機能項目）、機能要求推奨（任意機能項目）

番号	項目	要求機能	機能要求 必須/推奨	対応	
				対応方法 A～D	補足事項、代替案、カスタマイズの内容・金額等
12		収骨室前案内表示（収骨室前×3台） ・ディスプレイサイズ：15.6インチ以上 ・表示内容：葬家名 ・同姓同名の場合は、町名表示ができること。 ・表示内容を任意に入力できること。 ・進行状況により次の表示に切り替わる。	必須		
13	進行状況表示・操作処理	進行状況表示・操作機能 ・点火の操作 ・収骨準備完了の操作 ・待合室清掃完了の操作 ・進行状況の表示（到着）→告別中→火葬中→収骨待ち→収骨中	推奨		
14		進行状況は、経過時間も表示すること。	推奨		

埼葛斎場予約・表示システム機能要件書

「対応方法」の欄に A～D のうちから選択して記載すること。
 ※機能要求必須（必須機能項目）、機能要求推奨（任意機能項目）

番号	項目	要求機能	機能要求 必須/推奨	対応	
				対応方法 A～D	補足事項、代替案、カスタマイズの内容・金額等
4. クラウド環境要件					
1	性能要件	WWWサーバ、DBサーバはクラウド環境にて構成され、利用者がストレスなく照会及び予約ができる性能を有すること。	必須		
2		10年分以上の火葬台帳が余裕を持って管理できる容量を確保していること。	必須		
3	信頼性要件	サーバ機器を設置するデータセンターは日本データセンター協会が制定したデータセンターファシリティスタンダードのティア3相当以上であること	必須		
4		データセンターは日本国内にあること。	必須		
5		サーバ、ハードディスク、電源、ネットワーク機器等は冗長構成とすること。	必須		
6	セキュリティ要件	クラウドセンターと斎場間のネットワークは、ファイアウォールを設置しIP-sec方式でのインターネットVPNでセキュアな通信網を構築すること。	必須		
7		斎場に設置のファイアウォールは、データセンターとの通信、Windows アップデート、ウイルスパターンファイルの配信など、最低限必要なサイトとの間でしかアクセスできない設定とすること。	必須		
8		SSL通信を実現するために必要な基本機能を有すること。また、サーバ証明書をインストールし、256ビット鍵長のSSL暗号化に対応できる機能を有すること。	必須		
9	保守運用要件	クラウド環境におけるサーバ機器の稼働監視は24時間365日行うこと。システムダウン、ハッキング等の重大障害発生時は平常保守時間外であっても速やかな復旧作業に当たること。重大障害発生時以外は平常保守時間内に対応すること。	必須		
10		サービスを停止することなく、自動でバックアップデータを作成し、システム稼働領域とは別の場所に保存できること。バックアップされたデータは、ディザスタリカバリの観点から、遠隔地のクラウド環境のリソースにも毎日保存されること。	必須		
11		緊急時の対応として、本システムの各種データが格納されたデータベースを復旧できる環境と体制を準備すること。	必須		
12		本システムに障害が発生した場合には、バックアップされている各種データを用いて、前日までの状態に復旧できること。	必須		
13		IDSやIPS、WAF等によるFW以外の通信制御や不正アクセス監視を導入していること。	必須		
14		受注者にてドメインを取得し、本予約システムの使用上支障が生じないようにすること。	必須		
15		サービス提供環境で使用するOSやミドルウェア、各種ソフトウェアのセキュリティパッチについて、適用前に検証を行ったうえで随時適用が可能であること。	必須		
16		継続的に安全性の高いセキュリティ対策が確保されるようにSLAを提案すること。	必須		